

# 2023年度 卒業生および就職先企業等を対象とした インタビュー調査(概要版)

## 本調査の概要

立教大学では、卒業生を対象とした「卒業後調査」と、卒業生の就職先企業等を対象とした「就職先企業等に対する調査」を実施しています。本調査では、立教大学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、立教大学卒業生および卒業生の就職先企業等を対象として、大学教育・キャリア支援のあり方等を聞き取ることを目的としたインタビュー調査を実施しました。

この資料では分析結果の一部を抜粋してご紹介します。調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。立教大学では今回の結果を各学部等や事務部局など全学で共有し、これからの教育改善・充実に活かしてまいります。

## 卒業生を対象としたインタビュー調査の概要

調査手法:フォーカスグループインタビュー(1グループあたり90分)

調査対象者数:10名(4名×1グループ、3名×2グループ)

調査対象者:2022年実施の「卒業後調査」に回答し、かつインタビュー調査に協力意向を示した、2019年3月の卒業生

調査時期:2023年9月

## 就職先企業等を対象としたインタビュー調査の概要

調査手法:デプスインタビュー(1名あたり90分)

調査対象者数:8名

調査対象者:本学学生の就職実績または就職希望者の多い企業対して調査協力依頼を行い、協力可と回答のあった企業の中から、業種、規模、就職者数などの観点から考慮、検討し、選定した就職先企業等の人事担当者

調査時期:2023年9月

## 卒業生インタビュー調査の結果概要

### ■ 現在の仕事で役割貢献・能力発揮するために必要な要素

- ・ 「コミュニケーション能力」「調整力・交渉力」「伴走意識」といった対人関係を良好に築くためのスキルが挙げられました。
- ・ 「タスク・スケジュール管理能力」「要点を的確に伝える能力」といった業務を推進するためのスキルも挙げられました。
- ・ 業務に直結する「文章を読む力」「法務・財務面での知識」「語学力」「計算力」などのスキルや知識のほか、「推進力」「適応能力」「好奇心」など、ビジネスに取り組む姿勢に関する要素も挙げられました。

- **仕事で役割貢献・能力発揮するために必要な要素に紐づく在学中の学びと、それが仕事に役立った場面**
  - ・ 基礎知識の定着には授業やゼミが役に立っているという意見が挙がりました。
  - ・ ゼミを通して思考の仕方、プレゼンテーションやレポート作成のスキルが身についたという意見がありました。
- **これからのキャリアを展望した時に生きてくる在学中の学び**
  - ・ 在学中に知り合った人々との人脈、初対面の人と話すスキル、共同作業の仕方など、人間関係に関する意見が複数、挙がりました。
  - ・ 他にも、今は役立てられていないが今後は役に立つものが多いといった意見があった一方で、将来的に何をしたいか定まらなると学生時代に何をやればいいのか分からないと早期からキャリアを考える習慣が必要との意見も挙がりました。
- **学位授与の方針に対する評価**

\*立教大学が定めている学位授与の方針は、巻末付録または、以下の URL をご参照ください。  
[https://www.rikkyo.ac.jp/about/disclosure/educational\\_policy/](https://www.rikkyo.ac.jp/about/disclosure/educational_policy/)

  - ・ リベラルな校風や雰囲気、立教大生の柔和なイメージを形成するのに寄与していると評価する意見が挙がりました。
  - ・ 一方で、他者と良好な関係を築くことを重視するあまり、個が際立つような起業家タイプの人は少ないとする意見も挙がりました。

## 就職先企業等インタビュー調査の結果概要

- **文系総合職の新卒社員に求める資質・能力・スキル**
  - ・ 最も言及が多かった資質・能力は「コミュニケーション能力」で、仕事をしていく上で基本となる能力とする意見が多く挙がりました。
  - ・ ただし、「コミュニケーション能力」の意味は多義的で、「他者との円滑な協働」「関係者との調整・交渉」「わからないことを質問できる」「自分の考えを主張できる」「顧客理解」といった内容が含まれていました。
  - ・ 新卒社員は将来に向けて成長することが期待されており、成長のベースとなる資質・能力が求められていました。
- **立教大学生・出身者の特徴／資質・能力・スキルの充足状況**
  - ・ 立教大学出身者の印象や特徴を尋ねたところ、活動性や外向性が高く、コミュニケーション力を発揮して高い成果を挙げているイメージが挙げられました。
  - ・ 採用活動中(入社前)の立教大生に対する印象を尋ねたところ、「明るい」「はつらつ」「礼儀をわきまえている」「行儀が良い」など、ポジティブな印象が聞かれました。また、団体行動ができる、和を乱さないなど、調和型のイメージも持たれていました。
- **立教大学の学位授与方針に対する評価および過不足等についての認識**
  - ・ 学位授与方針の内容のうち「知識」「技能」の部分に共感する意見が多く挙がりました。「態度」については、「公共性と倫理性」と「異なる価値観を持った人たちとのプロジェクト遂行」の 2 要素に共感する意

見が多く挙がりました。

- ・ 立教大学出身者は「他者を理解する姿勢」が高いとの声も聞かれました。他方で、「キャリア展望を確立する力」には不足感があり、キャリア教育を望むという意見が挙がりました。
- ・ 理念に掲げられている「専門性に立つ教養人」を高く評価する就職先がありました。

## 前年度のインタビュー調査結果との比較

立教大学では、前年度も卒業生(卒業後 6 年)を対象としたグループ・インタビューおよび、就職先企業等を対象としたグループ・インタビューを行っています。以下では、今年度のインタビュー調査との主な違いを紹介します。

\*前年度の卒業生および就職先企業等を対象としたインタビュー調査の結果の概要は以下の URL からご覧いただけます。

[https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/alumni\\_interview\\_2022.pdf](https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/alumni_interview_2022.pdf)

### ■ 卒業生調査

- ・ 前年度は、卒業後 6 年の卒業生を対象としたことも影響してか、今後のキャリア展望で、「経営側」「役員」「役職が上がった時」等の話題が出ましたが、今回はそのような発言は見られませんでした。これは、今回のインタビュー参加者が卒業後 4 年と就業年数が浅く、まずは現在の仕事を推進させることを考え、それに必要なスキルを身につけていく段階であるためと考えられます。
- ・ 今回の調査では、大学側がキャリアや学び方について教える機会をより作ってほしいという意見が挙がりました。これは、卒業後 4 年が経ち、自身のキャリアを再考する中で、キャリアプランの設計方法などを大学で学びたかったということを反映しているためと思われます。

### ■ 就職先調査

- ・ 前年度は、複数の企業の人事担当者を1つのグループにまとめたグループ・インタビューで実施しましたが、今回は各企業の個別の事情や実態をより深く知るために、個別インタビューで実施しました。
- ・ 新卒社員に求める資質・能力・スキルとしては前年度と同様に、「コミュニケーション能力」が多く指摘されました。
- ・ 個別インタビューに変更したことにより、各企業の業態や業種に応じた採用過程のあり様を聞くことができました。また、各企業が感じている立教大学生や立教大学出身者の率直な印象を聞くことができました。

2024 年 1 月

立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会

## 付録 立教大学 学位授与の方針

### ◆ 立教大学の使命

- ・ キリスト教に基づいて人格を陶冶し、文化の進展に寄与する

### ◆ 学士課程教育の理念

- ・ 本学建学の精神である「Pro Deo et Patria(神と国のために)」にもとづき、「普遍的なる真理を探究し」(Pro Deo)、「私たちの世界、社会、隣人のために」(Pro Patria)働くことのできる「専門性に立つ教養人」を育成する。
- ・ 「専門性に立つ教養人」を育成するために、以下のような 4 つの目的を掲げ、これらを統合した教育を実践する。

### ◆ 学士課程教育の目的

<b>1. 知識</b>
専攻する学問領域の「知」の体系を批判的な検証をふまえたうえで理解し、専攻分野以外の学問領域に関しても幅広い知識を習得することが可能な教育。
<b>2. 技能</b>
「知」を検証・獲得・活用するために必要な具体的なスキルを習得することが可能な教育。とくに、学習および生活の場面において、ICT ツール、日本語を含めた 3 つの言語なども用い、調べ、考え、まとめ、発表し、議論することができるようになるための教育。
<b>3. 態度</b>
地球および地域社会の一市民として、高い公共性と倫理性を持ち、異なる文化・ジェンダー・しょうがい等に対して自らに内在している偏見に気づいて修正しつつ、異なる価値観を持った人たちと協働してプロジェクトを遂行できるようになる教育。
<b>4. 体験</b>
インターンシップ、キャリア教育、ボランティア活動、クラブ・サークル活動、正課外教育プログラム、といった様々な学習体験・社会体験ができる学習機会の提供。

- ・ こうした教育実践により育成される「専門性に立つ教養人」は、以下の①から⑨までの学修成果を有する者とし、これをもって立教大学の学士号の学位を授与することとする。
- ・ これらの学修成果は各学部の開講科目や全学共通科目等の正課教育に加え、インターンシップや海外留学等、大学が主催する様々な正課外教育の機会においても修得されるものである。

### ◆ 学士課程教育の学修成果

<b>&lt;真理を探究する&gt;</b> ①リベラルアーツの素養 ②専門性	<b>&lt;他者との共生&gt;</b> ⑤他者を理解する姿勢 ⑥表現力 ⑦リーダーシップ
<b>&lt;自己を確立する&gt;</b> ③自己を理解し発展させる力 ④キャリア展望を確立する力	⑧国際性 ⑨社会的実践力